



【正信念仏偈】

南無不可思議光
 法蔵菩薩因位時
 在世自在王仏所
 親見諸仏浄土因
 国土人天之善悪
 建立無上殊勝願
 超発希有大弘誓
 五劫思惟之摂受
 重誓名声聞十方

限りない命と思いはかるこ
 とのできない光の阿弥陀仏
 にお任せいたします。阿弥陀
 仏がまだ法蔵菩薩という
 修行者であつた頃、師匠の
 世自在王仏の所で、浄土の
 成り立ちや、そこに住まう
 人間や神々の善し悪しをご
 覧になられ、この上なく勝
 れた願いをたてられ、世に
 もまれな大いなる誓いをお
 こされました。とてつもな
 く永い間思いをめぐらし、
 四十八の願いを選び取り、
 そのお力をすべての世界へ
 と聞こえさせる為、南無
 阿弥陀仏の名号におさめら
 れました。そして、永い修行
 の果てに、遂に達成され阿
 弥陀仏となられたのです。

普放無量無辺光
 無碍無对光炎王
 清浄歡喜智慧光
 不断難思無称光
 超日月光照塵刹
 一切群生蒙光照
 本願名号正定業
 至心信樂願為因
 成等覚証大涅槃
 必至滅度願成就

阿弥陀仏の放つ光には十二
 の徳(無量光・無辺光・無碍
 光・無对光・炎王光・清浄光・
 歡喜光・智慧光・不断光・難
 思光・無称光・超日月光)が
 あり、すべてのものはその
 光に照らされる。南無阿弥陀
 仏の名号は、間違いなく
 私たちを救うために阿弥陀
 仏がご用意くださった行で
 あり、その根拠は『無量寿経
 卷上』に「我に任せよ必ず救
 う」というご本願(十八願)
 があるからです。迷いの世
 界へ再び行かないように、
 お浄土へと導いてくださる
 のも(十一願)阿弥陀仏のお
 力によるものです。



如来所以興出世

唯說弥陀本願海

五濁惡時群生海

応信如来如実言

能發一念喜愛心

不断煩惱得涅槃

凡聖逆謗齊廻入

如衆水入海一味

攝取心光常照護

已能雖破無明闇

貧愛瞋憎之雲霧

お釈迦様がこの世にお生まれになったのは、阿弥陀仏のご本願を説き広めるためでした。煩惱にまみれた人々は、お釈迦様の教えを信心しなさい。何故なら、阿弥陀仏の救いを喜ぶ人々は、自ら煩惱を断ち切れなくても、浄土へ往き、悟りを得ることが出来るからです。どのような人であつても、みな阿弥陀仏の本願の海に入れば、どの川の水も海に入れば一つの味になるように、等しく救われま

常覆真實信心天

譬如日光覆雲霧

雲霧之下明無闇

獲信見敬大慶喜

即横超截五惡趣

一切善惡凡夫人

聞信如来弘誓願

仏言広大勝解者

是人名分陀利華

弥陀仏本願念仏

邪見驕慢惡衆生

いたとしても、その下は明るいようなもので、光の加護は私たちに届いているのです。信心をいただき大いに喜び敬う人は、直ちに阿弥陀仏のご本願によつて迷いの世界を超え離れることができます。善人も悪人も、どのような人であつても、そのお力を信じれば、阿弥陀仏はこの人をすぐれた智慧を得たものであるとたたえ、「穢れのない白い蓮の花のような人」とお褒めになられます。阿弥陀仏のご本願「我にまかせよ、必ず救う」のお心は、よこしまな考えを持ち、おごり高ぶり、自分の経験しか信じていない方々には、



信樂受持甚以難
難中之難無過斯
印度西天之論家
中夏日域之高僧
顯大聖興世正意
明如來本誓応機
釈迦如來楞伽山
為衆告命南天竺
龍樹大士出於世
悉能摧破有無見
宣說大乘無上法

信じ受け入れることがとても難しいのです。難の中の難であり、これ以上に難しいことはありません。インド・中国・日本の高僧方が、お釈迦様がこの世にお生まれになった本意をあらわし、阿弥陀仏のご本願が私の為にたてられた事を明らかにされました。その昔、お釈迦様は楞伽山という山で弟子や仏教徒たちに「南インドに龍樹という僧が現れて、偏った見方を悉く打ち破り、全てのものは仏のおはたらきにより必ず悟りを得ることができるといふ尊い大乘仏教の教えを説き、本人は必ず阿弥陀仏の浄土へ往生するだろう」と予言されました。

証歡喜地生安樂
顯示難行陸路苦
信樂易行水道樂
憶念弥陀仏本願
自然即時入必定
唯能常称如來号
応報大悲弘誓恩
天親菩薩造論說
歸命無碍光如來
依修多羅顯真実
光闡横超大誓願

龍樹菩薩は、自分だけの力で厳しい修行を達成するのは陸路のようであると示し、阿弥陀仏のご本願にお任せする他力は楽しい船旅のようであると勧められました。龍樹菩薩は、「阿弥陀仏のご本願を信じれば、おのずから直ちに仏になる道が約束される。ただ常に南無阿弥陀仏を称え、仏の恩に報いるがよい」と述べられました。その後世、パキスタンの天親菩薩という僧侶は『浄土論』という書物を著して、「阿弥陀仏にお任せする」と述べられました。膨大な經典に基づいて阿弥陀仏の生きとし生けるものを必ず救うという本意をあらわされ、すぐれた願いと誓いを広くお示しになり、



廣由本願力廻向
 為度群生彰一心
 歸入功德大宝海
 必獲入大会衆數
 得至蓮華藏世界
 即証真如法性身
 遊煩惱林現神通
 入生死園示忘化
 本師曇鸞梁天子
 常向鸞処菩薩礼
 三藏流支授淨教

それらを私たちに伝えて救うために一心、すなわち他力の信心を明らかにされました。「南無阿弥陀仏に歸し、大いなる功德の海に入れば、浄土に往生する身と定まり、この世の真理眞実を悟った身となり、さらに再びこの迷いの世界へと戻って自由自在に人々を救うことができる」と述べられました。

その後世、中国の曇鸞大師という僧侶は、南朝の梁の皇帝から常に菩薩と仰がれた方です。病に倒れ、不老不死の教えを求めていたところ、菩提流支三蔵という經典訳者の僧から浄土の經典を授けられたので、不老不死の法を説く仙經を焼き捨てて、浄土の教えに帰依されました。

梵燒仙經歸樂邦
 天親菩薩論註解
 報土因果顯誓願
 往還廻向由他力
 正定之因唯信心
 惑染凡夫信心發
 証知生死即涅槃
 必至無量光明土
 諸有衆生皆普化
 道綽決聖道難証
 唯明浄土可通入

そして、天親菩薩の『浄土論』を解説され、浄土に往生させていただく仕組みは全て阿弥陀仏によることを明らかにされたのです。この世から浄土へと往くはたらしきも、浄土からこの世へ戻るはたらしきも、すべての根本は信心一つであると証明されたのです。煩惱を具えていても、この信心を得たなら悟りをひらくことができます。計り知れない光の浄土へ至ると、今度はあらゆる迷いの人々を導くことができますと述べられました。

その後世、中国の道綽禪師は、自分の力で悟るのは難しく、阿弥陀仏の力、すなわち他力によつて往生できることを明らかにされました。



万善自力貶勤修
 円満徳号勸専称
 三不三信誨慇懃
 像末法滅同悲引
 一生造悪値弘誓
 至安養界証妙果
 善導独明仏正意
 矜哀定散与逆悪
 光明名号顕因縁
 開入本願大智海
 行者正受金剛心

自分の力で修める行はいくらやっても劣っているとして、ひとすじにあらゆる功德を備えた南無阿弥陀仏の名号を称えることをお勧めになりました。正しく信心する為の方法を懇切に示し、いつの時代においても、阿弥陀仏のご本願は変わらず人々を救い続けることを明かされました。「たとえ生涯煩惱により悪をつくり続けても、阿弥陀仏のご本願を信じれば救われる」と述べられました。道綽禅師の弟子、善導大師はただ独り、他宗の諸師方の誤った説を仏教の真意を明らかにされました。善悪すべての人を哀れんで、南無阿弥陀仏が因となり、阿弥陀仏の智慧の光が縁としてお救いくださるのです。

慶喜一念相應後
 与韋提等獲三忍
 即証法性之常樂
 源信広開一代教
 偏帰安養勸一切
 専雜執心判淺深
 報化二土正弁立
 極重悪人唯称仏
 我亦在彼摄取中
 煩惱障眼雖不見
 大悲無倦常照我

「ご本願の智慧の海に入れば、行者は阿弥陀仏より信心をいただき、それが成就したとき、韋提希夫人と同じく、歡喜し、正しく理解し、仏を信じて浄土へ往生する」と述べられました。その後世、日本の源信和尚は、お釈迦様の教えを広く学ばれて、自他ともに浄土の教えを勧められました。さまざまな修行によって得られる自力の信心では、浄土の端の方でしか生まれることはできないが、南無阿弥陀仏の名号を信じそれによつて往生したならば、真実の浄土へと生まれることができる」と明らかにされました。「きわめて罪の重い悪人はただ、念仏すべきである。阿弥陀仏の光明の中に摂め取られているが、



本師源空明仏教
 憐愍善悪凡夫人
 真宗教証興片州
 選択本願弘悪世
 還来生死輪転家
 決以疑情為所止
 速入寂靜無為樂
 必以信心為能入
 弘經大士宗師等
 拯濟無辺極濁悪
 道俗時衆共同心

煩惱が私の眼をきえぎつて、みたてまつることができない。しかし、阿弥陀仏の慈悲の光明は、そのような私を見捨てることなく常に照らして下さっている」と述べられました。

その後世、浄土宗開祖の法然（源空）上人は仏教をきわめられ善も悪もすべての人を哀れんで、この日本に浄土真実の教えを聞いて明らかになされ、選択本願の法をこの世にお広めになりました。「迷いの世界に輪廻して生まれ変わるのは、本願を疑い思い図るからである。速やかに浄土へ往生するには、ただご本願を信じると述べられました。浄土の教えを広めてくださった高僧方は、

唯可信斯高僧説

数限りない生きとし生けるものをみなお導きになる。出家の僧侶も在家の仏教徒も今の世の人々は共に、ただこの高僧方の教えを仰ぎ信じるがよい。

愚禿 釋 親鸞

南無(ナマス)はインドの古い言葉で「お任せいたします」という意味です。そこに阿弥陀仏と仏様のお名前がつけますから、南無阿弥陀仏とは「阿弥陀仏にこの人生を、そして死後をもお任せいたします。」という意味です。阿弥陀仏に全てを任せることを浄土真宗では、他力と申します。